REC News Letter

Ryukoku Extension Center ニューズレター

No. 124 発行日：2017年9月26日

ご報告 福祉フォーラム2017「障がいのある人への意思決定支援 ～オーストラリアの実践から学ぶ～」を開催しました！

9月9日（土）、瀬田キャンパスにて、福祉フォーラム2017「障がいのある人への意思決定支援 ～オーストラリアの実践から学ぶ～」を開催しました。

SDM-Japan 代表の 水島俊彦 氏をお迎えし、『オーストラリアの意思決定支援から学ぶこと ～わが国の実践にどう生かすか～』をテーマに、ご自身の活動経験および南オーストラリアでの実践者の経験をもとにご講演いただきました。

水島氏は講演の中で、「障がいを持つ方を支援事業者がコントロールすることは、その人の人生を盗むような結果になる。障がいのあるなしにかかわらず、誰もが、自信と誇りをもって、内なる希望に基づく意思決定と可能性を追求できる社会を目指していきたい」と力強くご講演いただきました。続いて、南オーストラリアの実践者であるシェア・ニコルソン氏（SDM Original Trainer）とデビー・ノーレス氏（SDM Trainer）から「S.A-SDM（支援付き意思決定モデル）～南オーストラリアにおける意思決定支援の実際」について実践報告をいただきました。



その後、本学社会学部 樽井康彦准教授がコーディネーターとなり、「当事者主体の意思決定支援とは」をテーマにシンポジウムを開催しました。フォーラム参加者からは「意思決定支援について整理が出来た」、「今後の相談業務に活かせる内容だった」などの感想が寄せられました。

お知らせ 産学協働教育「京阪沿線活性化プロジェクト」がスタートしました！！

本プロジェクトは、京阪ホールディングス（株）が課題として抱える京阪沿線の七条～東福寺界隈の地域活性化策について、本学の日本人学生と留学生が中心となって考える正課外プログラムで、学部や学年を超えたメンバーで取り組むことが大きな特徴です。それを本学国際学部 八幡耕一准教授がコーディネートし、REC とアドバイザーとして参画する京阪 HD の沿線再耕チームがサポートしていきます。



現在は、当該エリアでのイベント開催について10名の学生が京都府と協議し、まちあるきをする等、地域の魅力を発見する活動を行っています。後期からは、留学生も本プロジェクトに参画する予定で、様々な視点から沿線活性化策について検討をすすめていきます。

なお、本プロジェクトは「学まち連携大学促進事業」（京都市・大学コンソーシアム京都）の支援を受け、実施しています。

お知らせ ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍（ドラゴン）2017」を開催します！！

ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍（ドラゴン）」は、学生起業家の発掘、ベンチャーマインドの養成を目的とし、2001 年度にスタートした龍谷大学独自のビジネスプランコンテストで、今年で 17 回目を迎えます。参加資格は、代表が龍谷大学の学生または大学院生であれば、個人、チームを問いません。「こんなものがあればいいな」というものをビジネスとして考えたり、社会的問題を解決するためのビジネスを考えたりとテーマは自由です。ビジネスプランを考えることは社会への視野を広げる機会にもなります。学生の新しいチャンス獲得のため、また、ゼミ活動の一環として、先生方からも学生へ周知をお願いします。

■本戦日時 ： 2017 年 12 月 2 日（土）13:00～17:00
■会場 ： 深草キャンパス
※詳細はホームページを参照してください。
http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/info/presendragon/

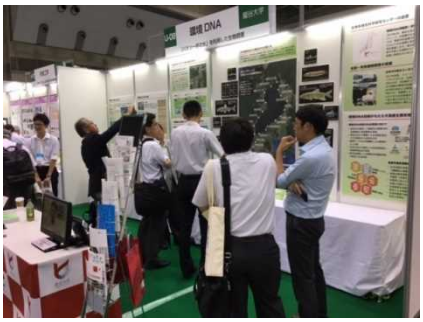


2016 年度の様子

ご報告　「イノベーション・ジャパン 2017～大学見本市＆ビジネスマッチング～」に出展しました！

8 月 31 日（木）、9 月 1 日（金）の 2 日間、東京ビッグサイトで開催された「イノベーション・ジャパン 2017～大学見本市＆ビジネスマッチング～」（主催：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO））に出展しました。2 日間で 25,000 名を超える来場者数を数え、本学ブースにも多くの方に来ていただきました。

龍谷大学からは、「大学組織展示」として、理工学部環境ソリューション工学科の近藤倫生教授、山中裕樹講師による「環境 DNA『バケツ一杯の水』を利用した生物調査」、シーズ展示として理工学部電子情報学科の木村　睦教授による「発電効率とコストを両立するレアメタルフリー酸化物半導体熱電素子」、農学部植物生命科学科の永野　惇講師による「トランスクリプトーム解析により植物の内部状態を知る」について紹介しました。



開催初日の 8 月 31 日（木）には、近藤教授が技術シーズの詳細についてプレゼンテーションを行い、多くの来場者に対して研究成果をアピールしました。

REC では、ブース来場者とのつながりを大切にし、シーズマッチングにつなげてまいります。

ご報告　夏休み子ども理科実験・工作教室を開催しました！

REC と理工学部が大津商工会議所と共催（後援：大津市）で、8 月 8 日（火）、9 日（水）に夏休み子ども理科実験・工作教室を開催しました。

この講座は小学生に「理科実験のおもしろさ」や「ものづくりの楽しさ」を知ってもらうため、実行委員長・青井芳史理工学部教授のもと、本学理工学部教員が講師を担当し、学部生や大学院生の協力を得て子どもたちに理科実験やものづくりの楽しさを伝えました。

今年度は年齢に応じた 12 種類の講座を提供しました。より多くの学年の小学生に楽しんでもらえるよう、講座の対象学年や名称を見直すと共に、共通コーナーに「折り紙と立体パズルで遊ぼう！」のプログラムも新設したことにより、参加人数は両日合わせて 309 名となりました。来年も子ども達の笑顔に会えるよう、本事業を引き続き開催していく予定です。





お知らせ　10 月の REC の活動

10 月 4 日～6 日　アグリビジネス創出フェア 2017〈東京ビッグサイト〉
10 月 10 日（火）　地元企業と大学生のマッチング事業（大津市との連携事業）
　　取材に向けたオリエンテーション、ワークショップ（交流会）〈瀬田キャンパス〉
10 月 18 日～20 日　びわ湖環境ビジネスメッセ 2017〈長浜バイオ大学ドーム〉
10 月 21 日（土）　伏見連続講座「夜の野生動物観察会」〈伏見稲荷大社〉
10 月 28 日（土）　龍起業塾 2017 ブラッシュアップ講座〈深草キャンパス〉
10 月 26 日～27 日　第 7 回おおた研究・開発フェア＜東京都大田区産業プラザ P.O＞
10 月 26 日（木）　第 5 回　REC　BIZ-NET 研究会「機械、構造物の疲労強度改善・評価と新素材利用の新展開」

龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

REC News Letter
No.124

REC News Letter は毎月発行。
次回は 10 月 25 日頃発行します。
※バックナンバーは龍谷大学 HP→教職員向けサイト
→REC　京都サイトをご覧ください。

編集・発行：REC 事務部
http://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

●REC 滋賀　REC ホール　（内線 7279）
●REC 京都　紫光館 5 階　（内線 6505）
●REC 東大阪　クリエイション・コア東大阪
　産学連携オフィス 2212 号（06-6748-8228）